

令和元年度第1回埼玉県国民健康保険運営協議会 議事概要

- ・ 日 時 令和元年7月31日（水）午後3時～午後4時
- ・ 場 所 さいたま共済会館 504会議室
- ・ 出席委員 12名

【被保険者代表委員】

市村委員、金子委員、堀江委員

【保険医又は保険薬剤師代表委員】

湯澤委員、中村（勝）委員、齊田委員

【公益代表委員】

宇田川委員、秋山委員、伊藤委員

【被用者保険等保険者代表委員】

桑島委員、柴田委員、中村（史）委員

1 議事（1）埼玉県国民健康保険事業特別会計予算の概要について

＜事務局＞

- ・ 参考資料2により、埼玉県国民健康保険運営協議会の概要について説明
- ・ 資料1により、埼玉県国民健康保険事業特別会計予算の概要について説明

【意見は特になし】

2 議事（2）埼玉県国民健康保険運営方針の目標達成に向けた取組状況について

＜事務局＞

- ・ 参考資料1により、埼玉県国民健康保険運営方針の概要について説明
- ・ 資料2-1により、埼玉県国民健康保険運営方針で設定した目標の進捗状況について説明
- ・ 資料2-2により、国民健康保険に係る赤字削減・解消計画について説明
- ・ 資料2-3により、次期国民健康保険運営方針の策定スケジュールについて説明

【主な意見】

- ・ 子どもへの均等割課税については、国と地方の協議の場である国保基盤強化協議会において、今後も検討を進めるべき事項の一つに位置づけられている。国において早急に軽減措置が導入されるよう地方から働きかけていくべきである。
- ・ 短期被保険者証・資格証明書の発行により、必要な受診が抑制されているのではないかと報告がある。県としてもこのようなことがないように進めていただきたい。
- ・ 資産割については、所得を生じうるような資産を有している方は少なく、課税されるが収納率が上がらないという現状があると思う。資産割を廃止する方向で検討すべきではないか。

- ・ 赤字削減・解消計画の内容を見ると、市町村によって温度差が大きい。収納率の向上、医療費の適正化、適正な保険税の設定が3本柱で、これらを組み立てて計画を策定していく必要があると思う。しっかりとした計画が策定されていれば赤字削減も進むものと考えてるので、県として指導していただきたい。